

<後期オリエンテーション>

A. テーマ：自然の諸問題から公共性へ キリスト教思想の視点から

これまで本特殊講義では、過去4年間にわたって、「キリスト教思想における自然の諸問題」を取り上げてきたが、今年度は、「多元性」や「公共性」の問題へ向けた議論の展開が試みられる。これは、次の段階で、「宗教的多元性と公共性」というテーマを本格的に論じるための導入として位置付けられるものである。また、こうした問題の展開は、これまでの「宗教と科学」関係論をめぐる考察から生じたものであると同時に、現代のキリスト教思想の動向の中に位置付けることも可能である。具体的には、次のような問題が扱われる。

1. 現代宗教学の基礎論についての体系的な考察。これには、宗教の概念規定、宗教批判、宗教的多元性という三つの問題群が含まれる。
2. 現代の「宗教の神学」をめぐる代表的な立場について概観し、その論点と問題点を整理する。
3. 宗教間対話との関連性という視点から、宗教的多元性とコミュニケーション論・公共性論との関わりを論じ、「宗教と科学」関係論との問題構造における並行性を解明する。

B. 後期・講義の予定

今年度は、自然神学から公共神学への移行の問題と、公共神学の基礎論としての宗教論を取り扱う。

オリエンテーション

導入1 平和の神学は可能か？

導入2 東アジア世界における宗教的寛容と公共性

1 自然神学から公共神学へ（前期）

- 1 環境論とキリスト教思想 - 環境・経済・政治 -
環境論と聖書解釈 - 創造論から終末論へ -
経済的・政治的な問いとしての環境論
- 2 生命論とキリスト教思想 - 生命・経済・政治 -
脳死論、そしてクローニング
自己決定論と共同体論
- 3 コミュニケーション論としての自然神学
自然神学とは何か
コミュニケーション合理性と自然神学

4 自然神学から公共神学へ
コミュニケーション論の拡張の可能性
まとめと展望

後期オリエンテーション 10/6

2 現代宗教論（後期）

序論：問題提起 10/6

- 1 宗教とは何か 10/13 20 27
古典的宗教哲学とその限界
意味論から宗教論へ
究極的関心・深みの次元・自己超越性
- 2 近代世界と宗教 - なぜ宗教か - 11/10 17
フョイエルバッハ問題
現代神学とフョイエルバッハ
宗教的实在論
- 3 宗教的多元性の諸問題 12/8 15
宗教の神学
ヒックと宗教多元主義

Exkurs 日韓キリスト教神学と土着化 民族をめぐって 12/1

2 現代宗教論

序論：問題提起

1. 自然神学、「宗教と科学」関係論から公共性の問題へ

(1)自然神学：自然的理性に基づく神学のコミュニケーションにおける合理性の問題

内部コミュニケーションと外部コミュニケーション

歴史的には、創造論に基づく、「啓示神学 自然神学 自然学（科学）」の連関性

キリスト教思想史における典型例

自然学（科学）から諸学問全般への拡張

キリスト教以外の諸宗教との対話の問題への拡張

東アジアの文脈では、「キリスト教と儒教」というテーマ

家・先祖・国家という秩序体

宇宙論的神話ではなく、民族起源神話

自然神学的コミュニケーションの実例の検討から、その基礎論へ

歴史的研究から理論的基礎論（哲学的？）へ

公共性の問題

(2)生命と環境の問題：単なる科学技術の問題でも、単なる価値判断の問題でもなく、こ

れは、政治的経済的な領域との関わりで分析され、論じられねばならない。

公共性の問題

2 . 宗教と公共性との関係

(1)コミュニケーション合理性（外部）は公共の事柄である。

宗教の複数性という現実、複数性を前提とした関係構築の課題

市民社会という公共圏：政教分離・信教の自由という西欧近代モデルの再検討

リベラリズムとコミュニタリアニズム、ポスト・リベラル神学

稲垣久和・金泰昌編 『宗教から考える公共性』（公共哲学16）東京大学出版会

2006年。

(2)キリスト教自体の理解における公共性

「キリスト教とは何か」にいかにか答え得るか。

キリスト教の多様性と統一性

公共性の問題

3 . 現代宗教論と宗教基礎論

そもそも宗教とは？

合理性の問いと関連づけられた、また複数性と現実に即した宗教概念の構築

宗教基礎論へ

宗教の概念規定の問題

宗教の合理性（宗教批判）の問題

宗教の複数性の問題

個別的な宗教研究

そして、公共性と宗教との関係の問題へ

4 . Hans Kung / Julia Ching, *Christentum und Chinesische Religion*, Piper 1988.

Kin Ming Au, *Paul Tillich and Chu Hsi. A Comparison of Their Views of Human Condition*,

Peter Lang 2002.

Werner Ustorf / Toshiko Murayama (eds.), *Identity and Marginality. Rethinking Christianity in North East Asia*, Peter Lang 2000.

5 . Chantal Mouffe, *The Return of the Political*, Verso 1993.

the separation between Church and State and the distinction between public and private. But if the separation between the private domain of morality and the public domain of politics was a great victory for liberalism, it also led to the relegation of all normative aspects to the domain of individual morality. (111)

the frontier between public and private is not given once and for all but constructed and

constantly shifting. (51)

<テキスト>

芦名定道 『ティリッヒと現代宗教論』北樹出版 1994年。

<成績評価>

レポート（前期あるいは後期の講義内容に関連して）